



24日の正午、全国の人が亡くなった方々のご冥福を祈ることを提案しています。四月九日直前の日曜日。どんな方法でもかまいません。被災地の方角に手を合わせる、仏壇に線香を上げる、神社、教会で祈る。集団でも個人でも。東北をどう復興するのか様々な議論が始まっていますが、十分な追悼をせず未来を語っていいのか、ためらいを感じるのです。もちろんご遺族は様々に供養をされていると思います。でも家族全員が亡くなり、誰にも送ってもら

復興語る前に、祈りたい

生きていく
あなたへ

えない方もおられるでしょう。そして被災地の外の人はどうでしょうか。古来、葬儀は共同体が行うものでした。遺族だけでなく、地域の皆で死者を弔ったのです。復興を語る前に、いま一度、みんなですべての亡くなった命を追悼し、思いを共有したいのです。この災害は様々なことを問うています。なぜ多くの犠牲を出したのか。社会は、支援はどうあるべきか。考え抜くことが、日本を変えることになるでしょう。その歩みを始めるにあたり、祈りたい。